

平成 31 年度事業報告書

テーマ：医療・介護・福祉ネットワークの連携を図り、心身機能の自立支援と安心ある暮らしの地域交流を目指す

サブテーマ：地域福祉の担い手として、自分らしい生活を続けられるよう支援する

白楽荘みくに湊・短期入所生活介護

1. (短期入所) 利用者、家族が必要な時に安心して利用できる施設として在宅生活を支えていく

介護度や家庭環境の違う利用者の、事故、トラブル防止に努め、利用者が安心して快適に過ごせるよう努める

ケアマネ、他事業所からの情報をもとに現場に情報発信し、現場職員に伝えることができた。また、利用時の状況や特性を把握し、事故やトラブル防止に繋げることができた。

2. (入所) 在宅に近い雰囲気の中で、その人らしく生活できるよう支援する

利用者、家族から頼られるように、介護力や接遇の維持向上に努める

拘束廃止委員では、「虐待の芽摘みチェック表」を月に一度、全職員が自分自身でチェックし、

自分自身の言動を振り返り、上司のコメントを得ることにより、不適切ケアの防止に努めることができた。

事故防止委員会では、各部署で発生したアクシデントを共有し、事故の検証や対策についての考え方の確認をすることができた。骨折などの事故では、検証し対策について話し合い、以後の再発防止のケアへと繋げることができた。

利用者の ADL の状態に合わせて、ケアの見直しを行い、ご家族への報告は適時行った。また、相談についてもその都度応じ、苦情に繋がる件はなかった。

インフォーマルなサービスを活用し、日常とは違った刺激や楽しみを持ち、地域との繋がりを感じてもらう

毎月、コーヒーボランティアやお話ボランティアの来荘があり、利用者の楽しみや良い刺激として、心待ちにさ

れていた。また、秋祭りや米寿お祝い会には家族や地域のボランティア、学生、園児を招き、交流することができた。

ご家族の希望時には外出の支援を行い、ご家族や近所の方と繋がり感じて頂くことができた。